

第四小学校

コミュニティ・スクールだより

令和7年3月24日

第四小学校運営協議会 No.4

CS活動と第4回学校運営協議会

3学期のCS活動の様子



「↑地域の方への感謝の会」



「↑エコムーブ環境学習5・6年」



「↑朝学習」



「↑ものづくり体験」



「↑ 図工のこぎり支援4年」



「↑ガン教育 5・6年」



「↑茶の湯体験 6年」

第四小学校にCS（コミュニティ・スクール）が導入され、7年が経過しようとしています。今年度は、昨年度の反省を受け、4回の会議を実施することができました。話し合い（熟議や協議）を中心に活発に意見交換がなされました。

コミュニティ・スクール（CS）活動においても、保護者や地域の皆様には多くのご支援・ご協力をいただき、有意義な体験や活動を実施することができました。

過日、2月27日（木）に第4回学校運営協議会が開催され、CSについての1年間のまとめを行いました。

学校運営協議会の内容は、以下の通りです。

〔協議〕

- ①「令和6年度のCS活動の報告」
- ②「学校関係者評価の結果の説明」
- ③「1年間のまとめ（成果と課題）と次年度に向けての意見交換」

今後も四小の子どもたちの思いや願いが実現できるよう力添えをよろしくお願いいたします。



「↑ 地域の方への盆栽講座5」

1年間のまとめと次年度に向けて



〈今年度の主な活動〉

○のこぎりや彫刻刀の使い方、箏の調弦、畑作り等にボランティアが入ってくれたことにより、安全確保ができたこと、教職員の負担が少なくなり、指導の充実のための時間を確保できるようになった。

○朝学習ボランティアに地域の方が進んで支援してくれ、一人一人にあった指導や声かけをしてくれ、意欲的に学習している様子が見られた。

○ボランティアの方が月1回、各クラスで読み聞かせを行ってくれた。発達段階に合わせて、本を選んで読んでくれているので、児童は本に興味を示し、読書量も増えている。

○地域学校協働本部が機能し、公民館（長）や区長が中心となり、竹あかりまつり・岡里神楽の上演・工場と連携した椅子作り、足尾現地（事前）学習・大島地区防災訓練など地域学校協働活動が積極的に行われ、四小独自の特色ある教育が行われている。今年度は足尾学習のまとめを田中正造記念館に展示し、多くの方に見ていただく機会をもてた。

○大島地区防災訓練を学校公開日に実施した。新しい活動が実施されたり、紹介されたりして地域の方と保護者、全校児童が防災意識を高めることができた。

○全校児童と寿会でのサツマイモ植えやその収穫のイモ掘り昔遊び、園児との「あきのおもちゃ遊び」等、多くの活動を通して、様々な年齢の地域の方や園児とかわることで、人間関係が広がり、社会性を高めることができています。

○生涯学習班では、継続的に盆栽教室を実施し5回目となった。参加した方は、「毎回楽しい。育てるのは、難しかそうだけど、大切に育てたい。」という感想が聞かれ、地域の方にとってもよい体験となっていた。



〈課題と解決策〉

○保護者の方も増えつつあるが、ボランティアの方々も固定化している。（朝学習や登下校の見守り、安全安心の対策） →保護者や祖父母への声かけ。新しい方に入ってもらう。公民館で活動しているグループに協力してもらう。

○持続していくこと、よりよく変化しながら負担にならない形で行う必要がある。 →連絡体制の整備。（授業ボランティア、学習発表会、清掃活動、児童のアイデアを生かした活動）

○四小地区運動会や学校行事や活動への一般区民やお年寄りの参加の工夫。 →公民館や学校からのアプローチや発信方法の工夫

○寿会は動ける人が少なくなりつつある。昔遊びにおいて一つ一つの活動時間が短かすぎる。余裕をもって、設定するとよい。じっくりでき

学校運営協議会委員の意見

るようにするには、種目を1～2こ減らしてもよいのではないかと。

○学校のボランティア活動に主任児童員も誘って参加している。児童との関わりができたり、活躍の場ができていたりしている。

○授業を参観して、子どもたちの心を育てていると感じた。図書室は整備されていて素晴らしい。

○世代間交流事業に市から補助金が出ている。来年度も地域や子どもたちのために活用したい。

○豊かな体験ができています。四小地区の生徒はCS活動に積極的に参加している。

○みんなが幸せな1年を過ごせたと思う。3月にある箏の演奏会が楽しみ。子どもたちの「もっと体験したい」という声も熟議で聞けてよかった。

○館林で最初のモデル校として7年。地域の人たちが子どもたちを地域で育てようという気持ちがあふれていて素晴らしい。

○ふざけながらの登校は注意してきた。歩きで登校する子が少なくなっている。体力低下が心配である。CSにおいてボランティアの金子さんの存在が大きく、とても感謝している。

○ボランティアをしてくれる人（若い人にも）にもっと声をかけていく。工業団地の造成工事が始まるので、通学路に影響する。安全な通学路となるよう整備をしていく。少人数でのデメリットがあるが、それを補う意味でも、地域の人と一緒に活動するのもよいのではないかと。